

# 大学の社会的責任についてのアンケート —結果報告—



株式会社日経リサーチ  
企業調査局 企業経営研究部

林 美智代      hayashi@nikkei-r.co.jp

# 調査概要

- 1 調査目的：現在日本の大学において「大学の社会的責任」がどのように認知され対応されようとしているのかその実態を把握し、これを大学関係者にフィードバックすることで、大学経営支援の一助となる
- 2 調査対象：国公立／私立大学（総合、単科/専門、短期大学含む）
- 3 調査地域：全 国
- 4 サンプル数：発送数 847s（国公立191s＋私立656s）  
回収数 204s  
有効回答数 201s（有効回答率 23.7%）
- 5 調査方法：質問紙郵送法
- 6 調査期間：2004年10月19日～11月19日
- 7 調査主体：特定非営利活動法人 21世紀大学経営協会（U-MA21）
- 8 調査企画：SR部会  
USRグループ  
株式会社中央青山PwCサステナビリティ研究所 寺田 良二  
株式会社日経リサーチ 林 美智代
- 9 調査実施機関：株式会社日経リサーチ

# 基本属性

## ■大学種類1

		国公立	私立	無回答	
全 体 (N=201)		71	130	0	上段:実数
		100.0	35.3	64.7	0.0

## [参考]送付対象

合計	国公立	私立	
847	191	656	上段:実数
100.0	22.6	77.4	下段:%

## ■大学種類2

		総合大学	単科/ 専門大学	短期大学	無回答	
全 体 (N=201)		92	89	17	3	上段:実数
		100.0	45.8	44.3	8.5	1.5

## ■回答者役職

		理事長・ 学長	理事・ 副学長	事務局長・ 室長・ 総務課長	事務方 担当者	その他	無回答	
全 体 (N=201)		55	46	58	12	10	20	上段:実数
		100.0	27.4	22.9	28.9	6.0	5.0	10.0

## ■学生全体数

		1000人 未満	1000人 以上 5000人 未満	5000人 以上 1万人未満	1万人以上	無回答	
全 体 (N=201)		55	65	40	36	5	上段:実数
		100.0	27.4	32.3	19.9	17.9	2.5

## ■正職員数(教員含まず)

		50人未満	50人~ 100人未満	100人~ 300人未満	300人以上	無回答	
全 体 (N=201)		70	33	49	45	4	上段:実数
		100.0	34.8	16.4	24.4	22.4	2.0

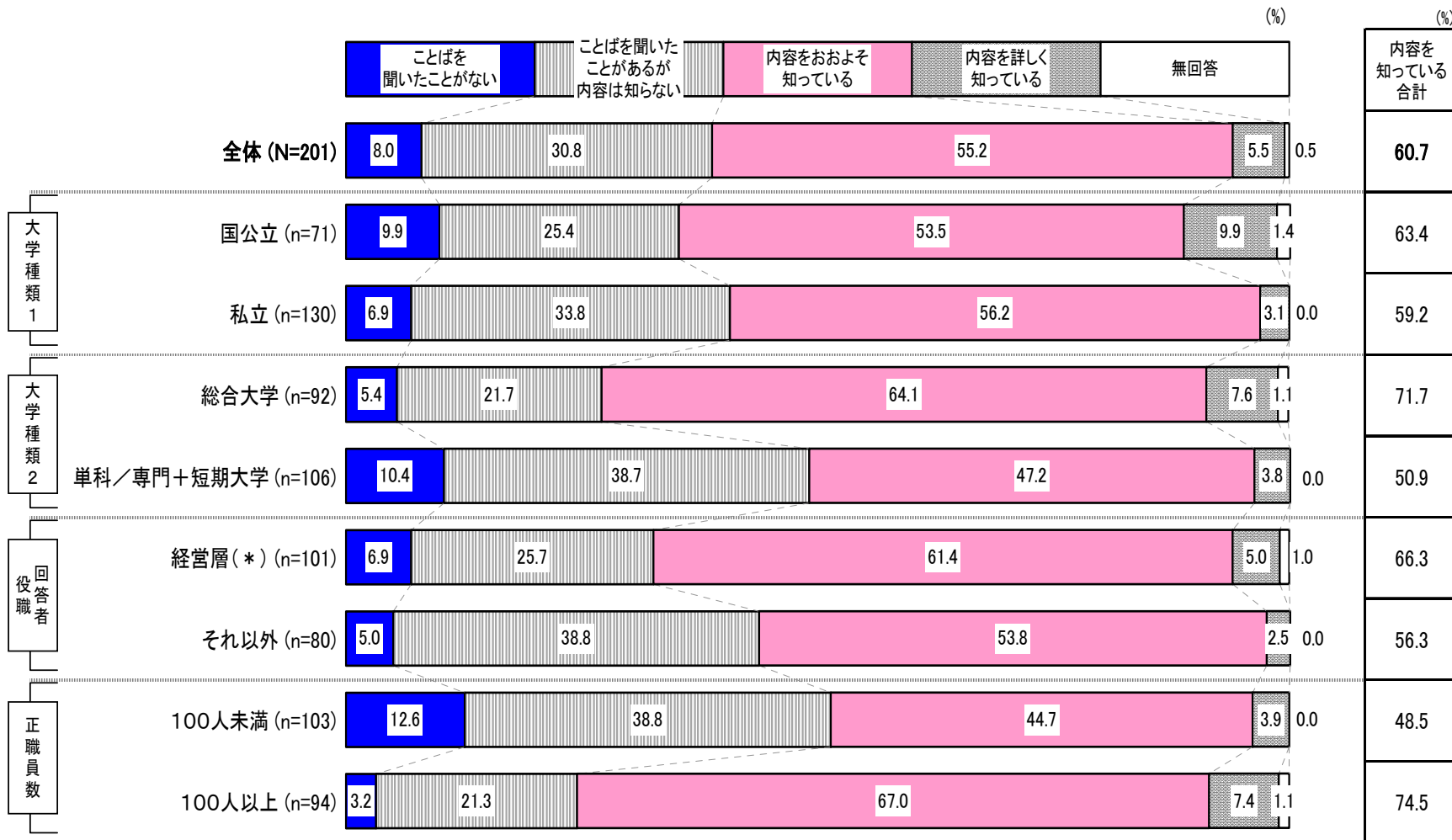
## ■エリア別

		北海道 ・東北	関東 (首都圏 除く)	首都圏	東海	甲信越	近畿 (大阪圏 除く)	大阪圏	中国	四国	九州・沖縄	無回答	
全 体 (N=201)		16	6	53	21	17	9	29	17	4	26	3	上段:実数
		100.0	8.0	3.0	26.4	10.4	8.5	4.5	14.4	8.5	2.0	12.9	1.5

# 1. USRの認知度

Q1. あなたは、大学の社会的責任(USR= University Social Responsibility)についてどの程度ご存知ですか。(1つだけ〇印)

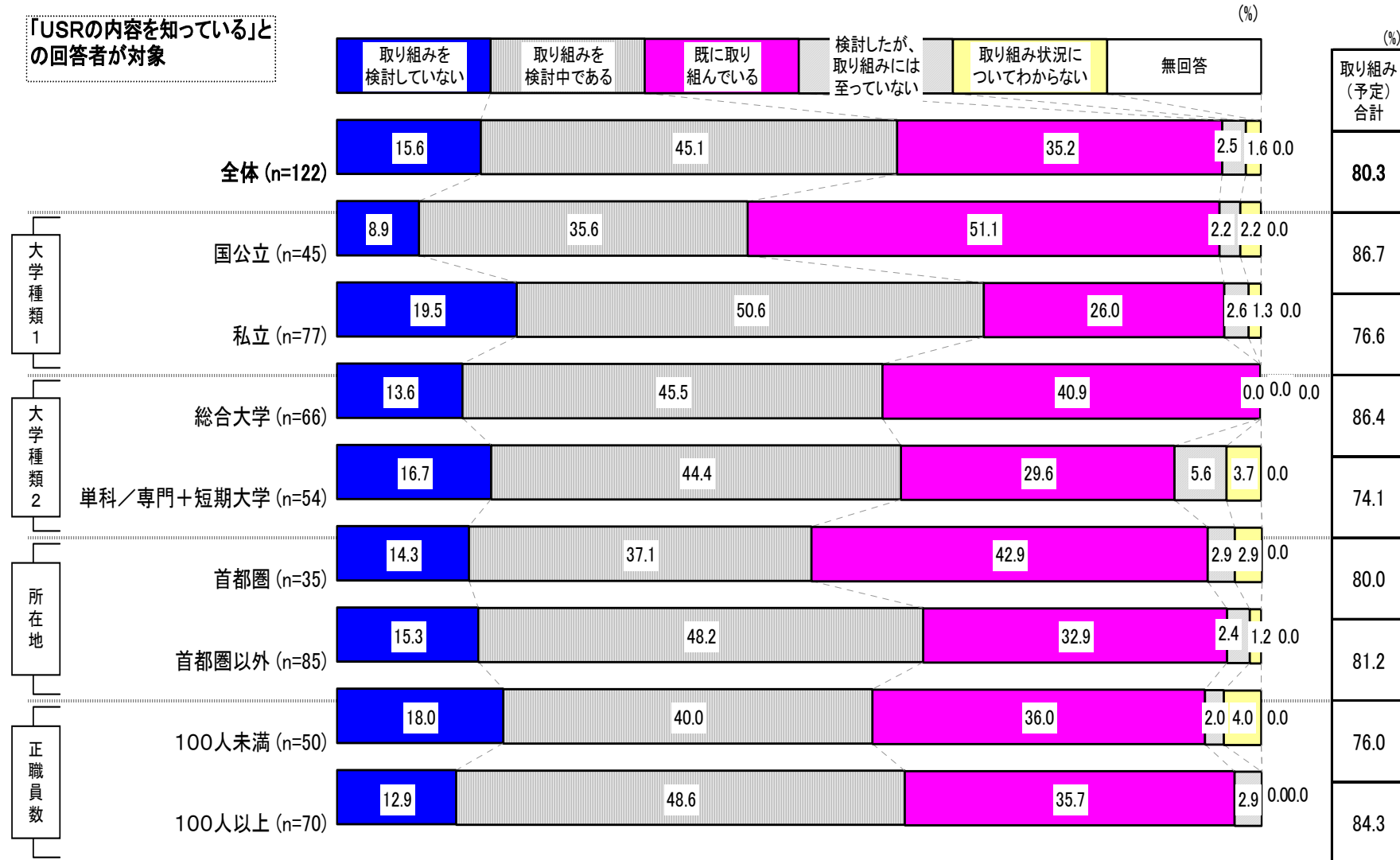
※「経営層」= 理事長/学長、理事/副学長クラス



## 2. USRの取り組み状況

Q1SQ1. (Q1で3~4とお答えの方にお聞きします)貴大学では、「大学の社会的責任(USR)」への取り組み状況はどのようになっていますか。(1つだけ〇印)

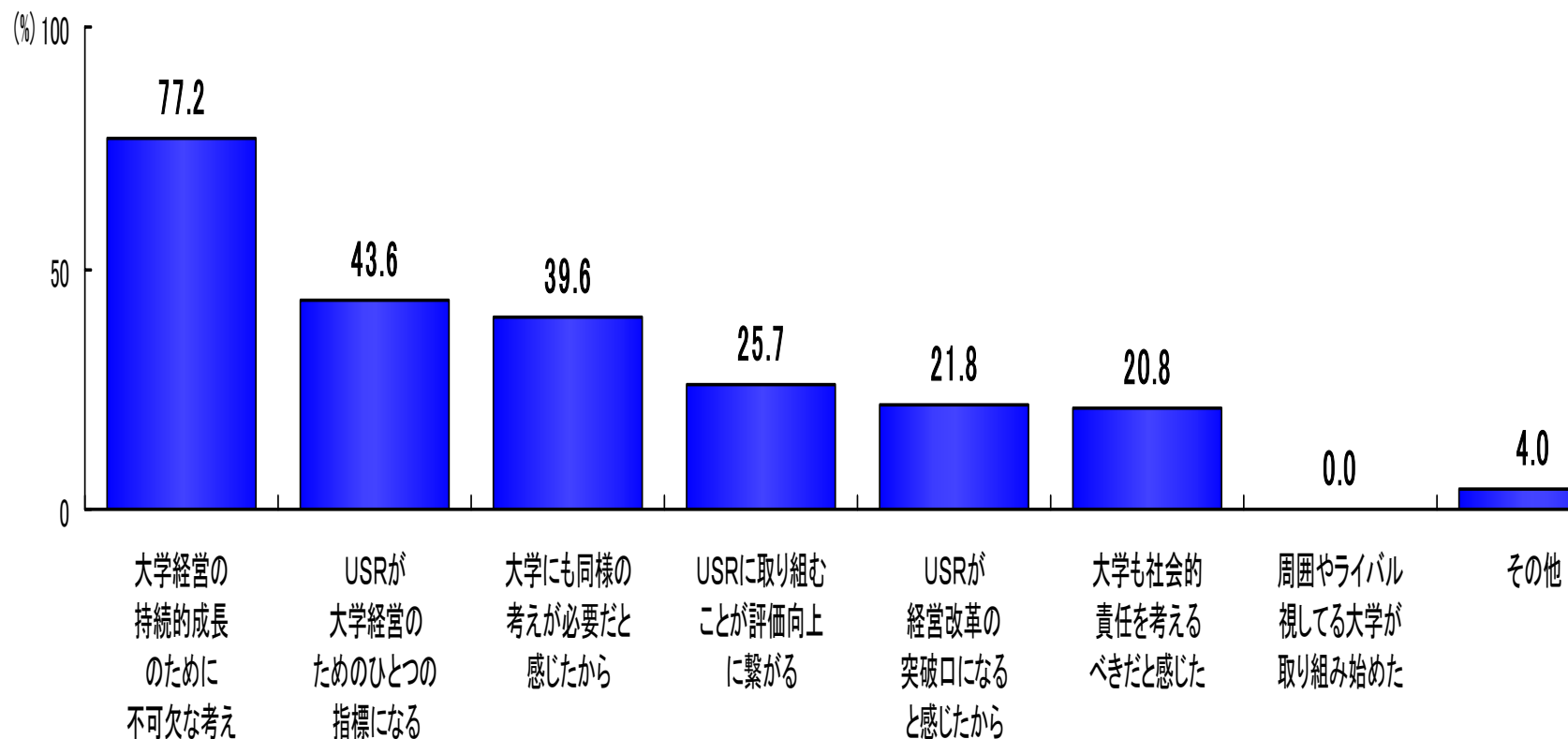
「USRの内容を知っている」と  
の回答者が対象



### 3. USRの取り組み検討理由

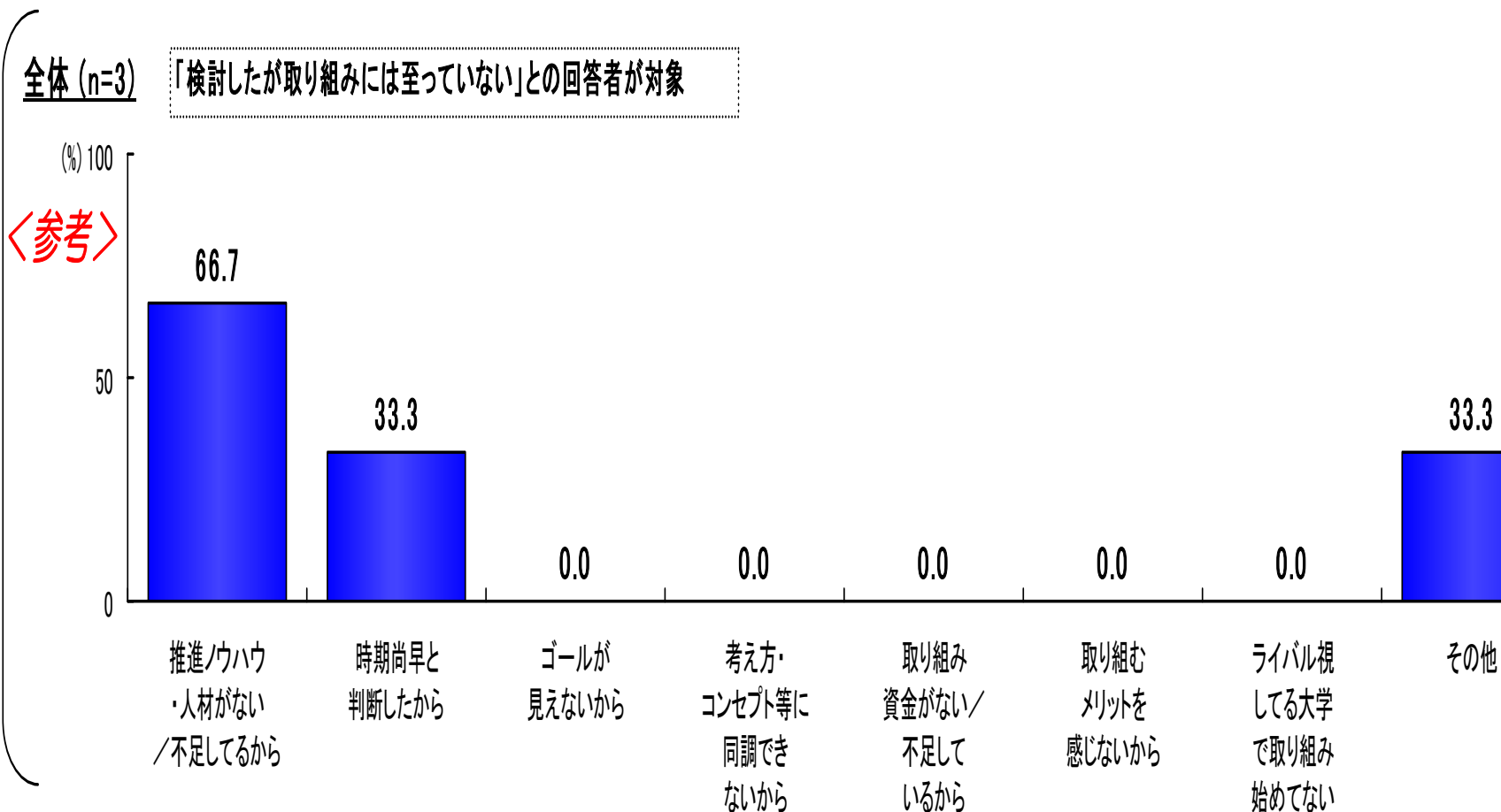
Q1SQ2. (Q1SQ1で2~4と回答の方へ)「大学の社会的責任(USR)」への取り組みを検討されるに至った背景や理由は何ですか。(いくつでも〇印)

全体 (n=101) USRの取り組みを検討した回答者が対象



### 3. (参) 取り組みに到らなかった理由

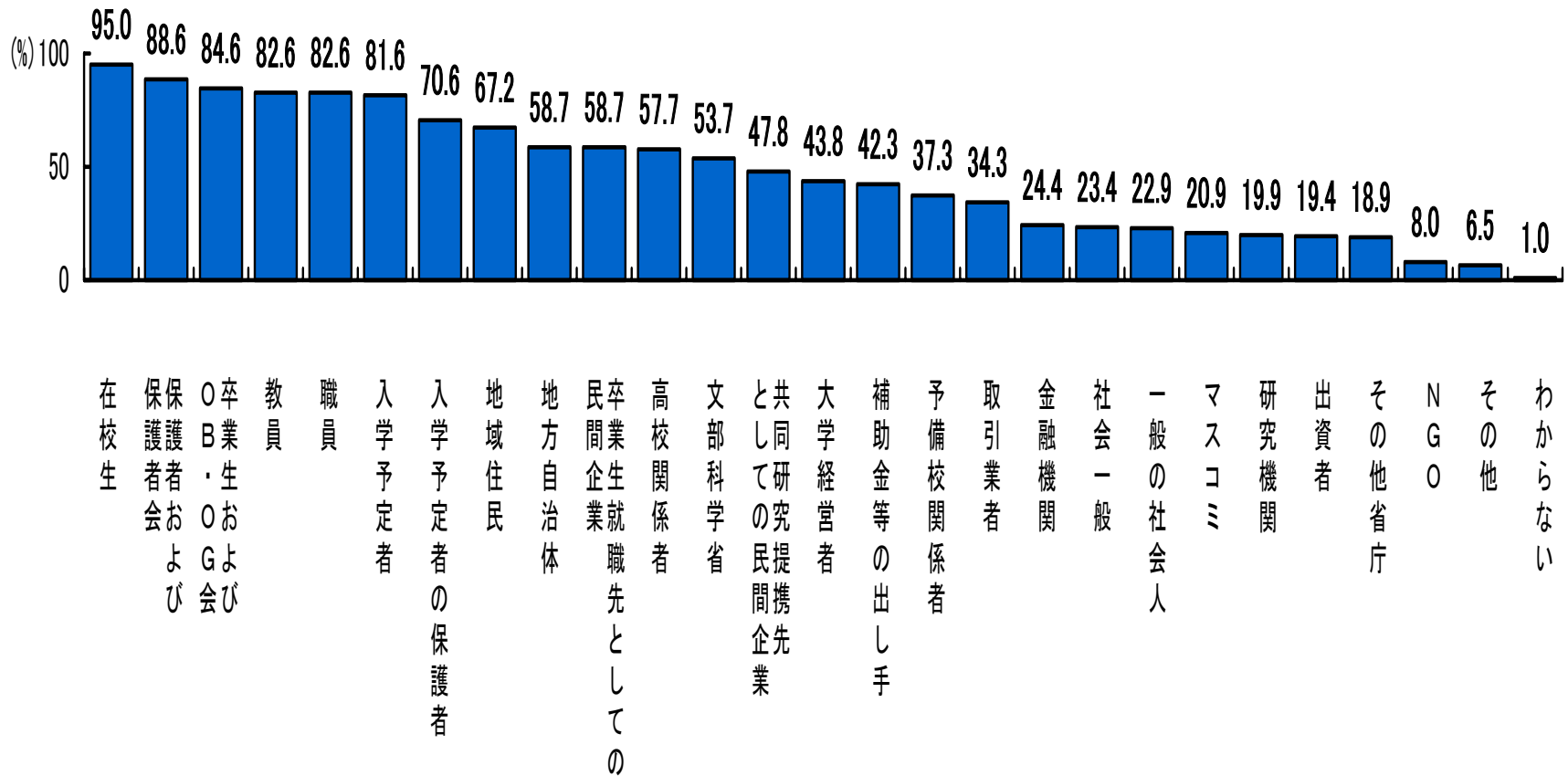
Q1SQ3. (Q1SQ1で4と回答の方へ)「大学の社会的責任(USR)」への取り組みを検討したものの、取り組みには至らなかった理由は何ですか。(いくつでも〇印)



# 4. ステークホルダーの範囲 ①全合計 (1)

Q2. 貴大学では、「ステークホルダー(利害関係者)」の範囲をどのようにとらえていますか。(いくつでも〇印)

全体 (N=201)

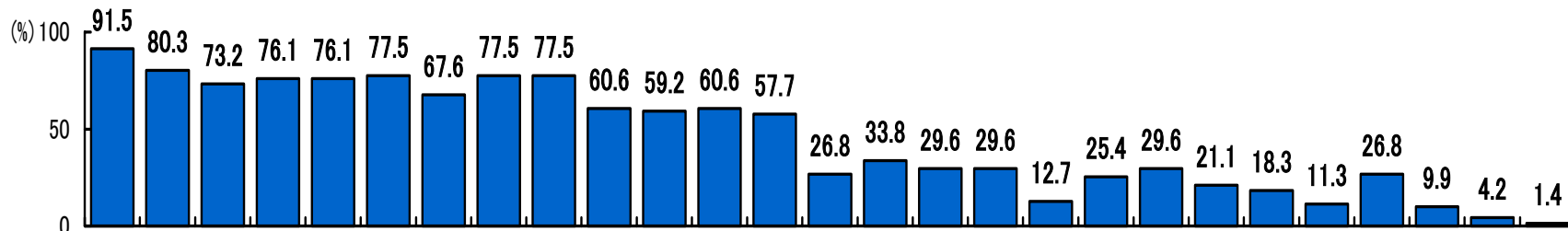




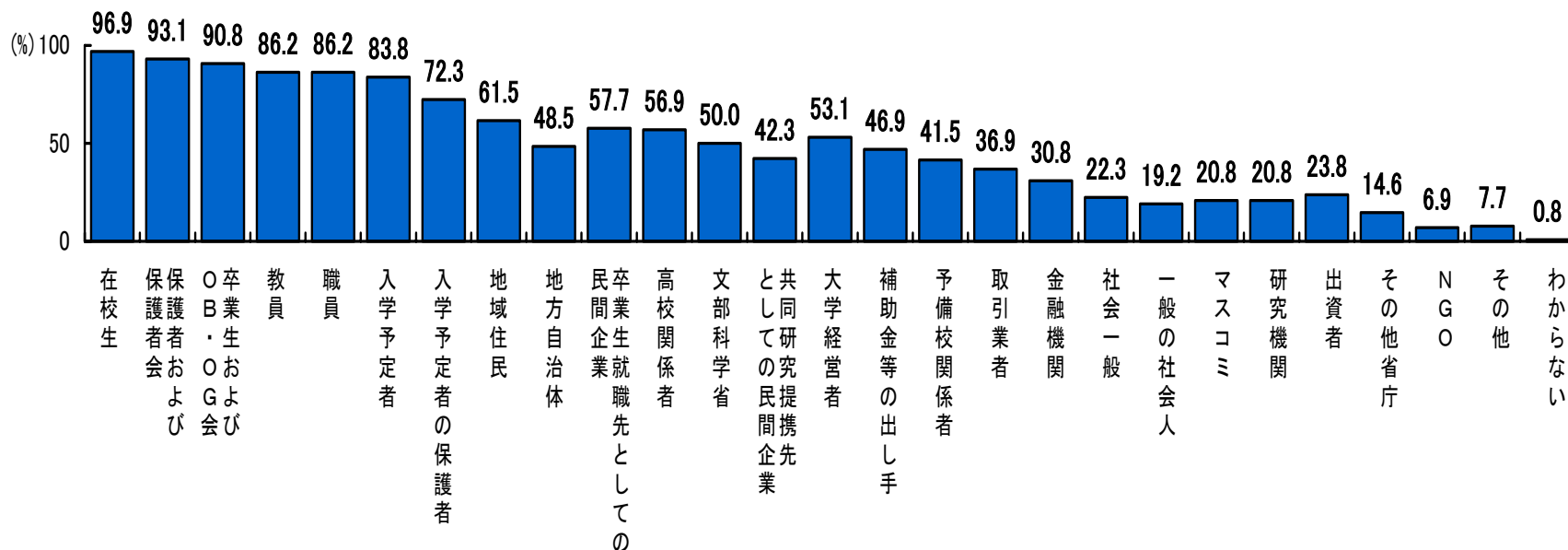
# 4. ステークホルダーの範囲 ①全合計 (2)

Q2. 貴大学では、「ステークホルダー(利害関係者)」の範囲をどのようにとらえていますか。(いくつでも〇印)

## 国公立 (n=71)



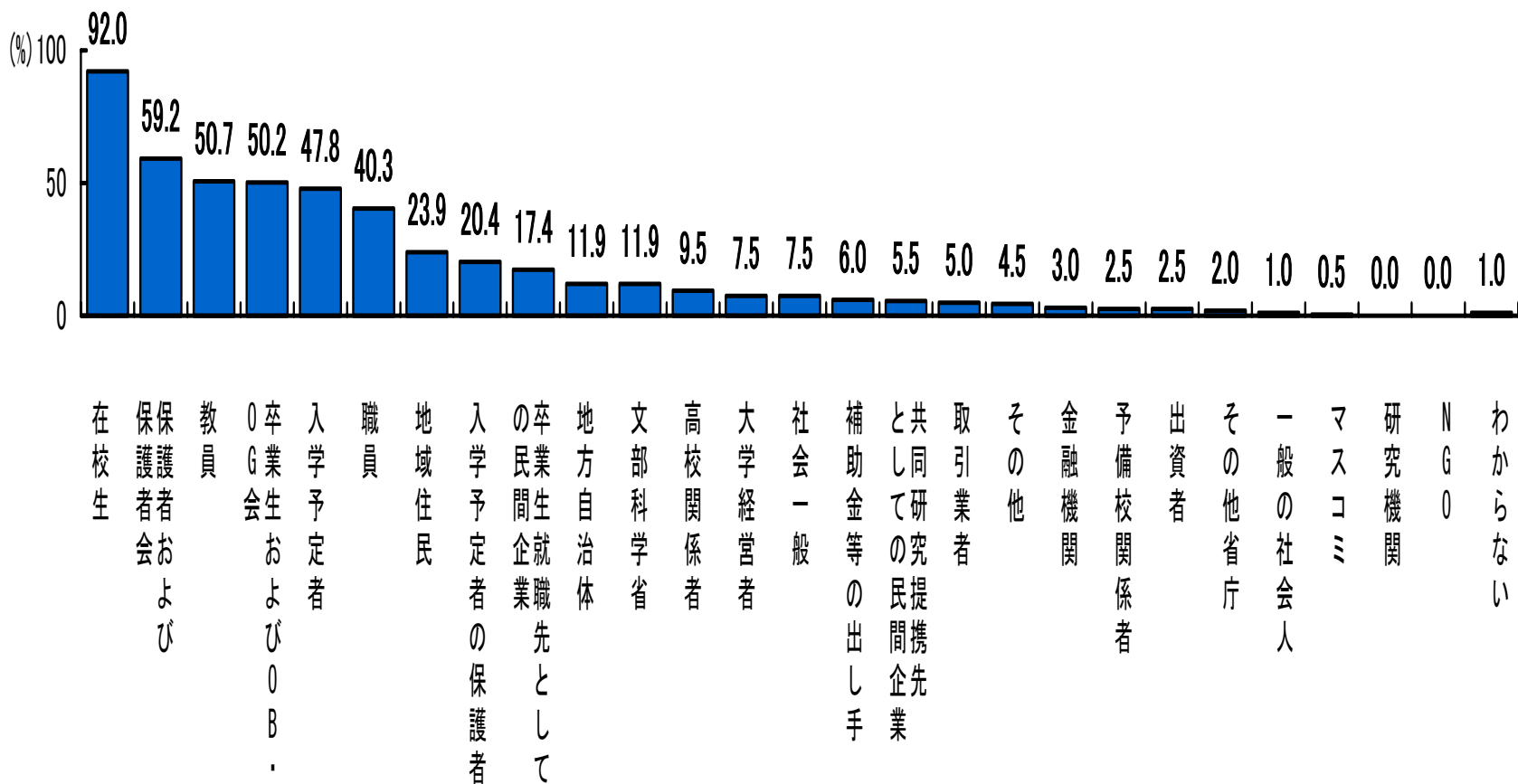
## 私立 (n=130)



## 4. ステークホルダーの範囲 ②1～5番目合計 (1)

Q2SQ1. 上記Q2で選んだうち、重要と考える「ステークホルダー(利害関係者)」を最大5つまで選び、重要な順にその番号を記入してください。〈1～5番目合計〉

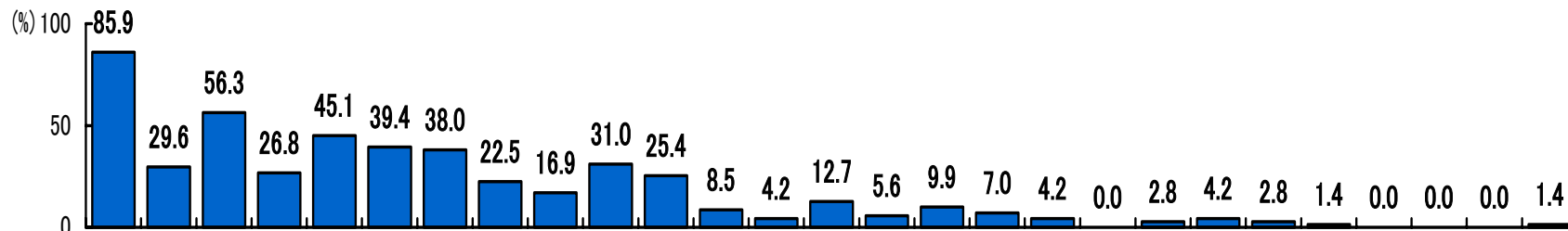
全体 (N=201)



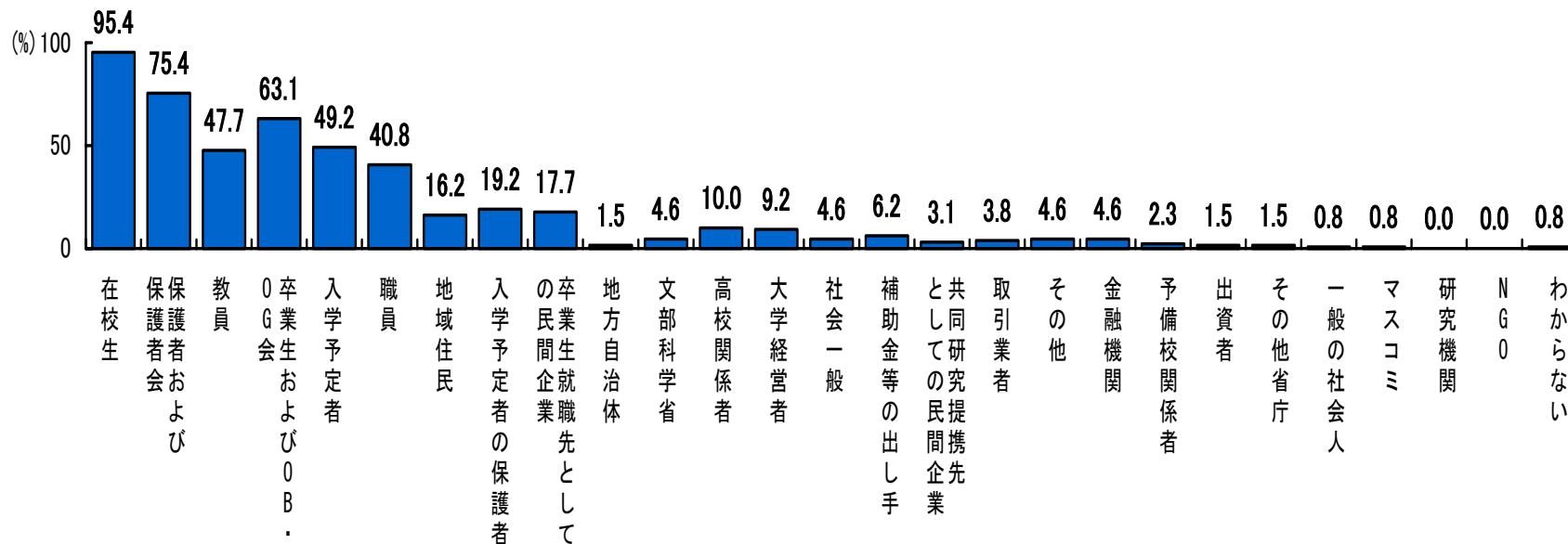
## 4. ステークホルダーの範囲 ②1～5番目合計 (2)

Q2SQ1. 上記Q2で選んだうち、重要と考える「ステークホルダー(利害関係者)」を最大5つまで選び、重要な順にその番号を記入してください。<1～5番目合計>

### 国公立 (n=71)



### 私立 (n=130)

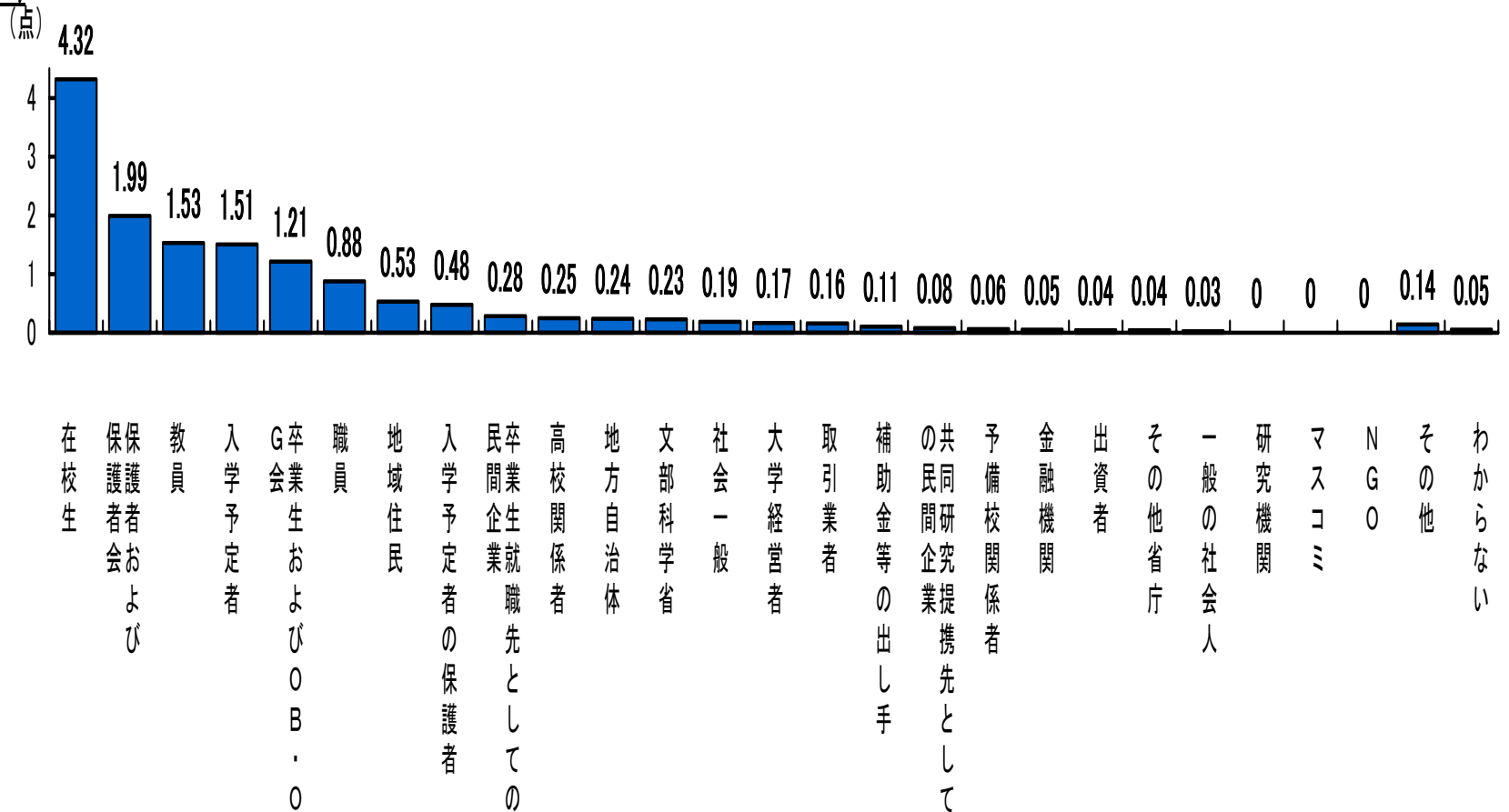


## 4. ステークホルダーの範囲 ③1～5番目ウェイトづけ平均(1)

Q2SQ1. 上記Q2で選んだうち、重要と考える「ステークホルダー(利害関係者)」を最大5つまで選び、重要な順にその番号を記入してください。

<1～5番目合計 平均化>

全体 (N=201)

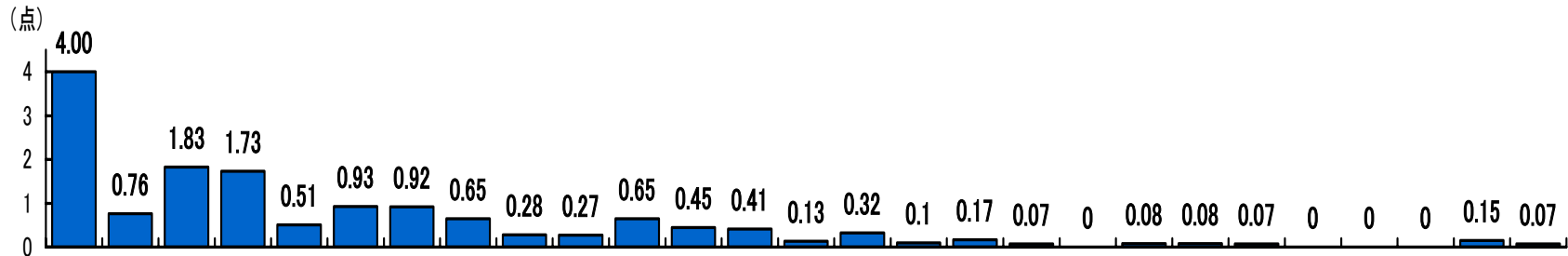


## 4. ステークホルダーの範囲 ④1～5番目ウェイトづけ平均(2)

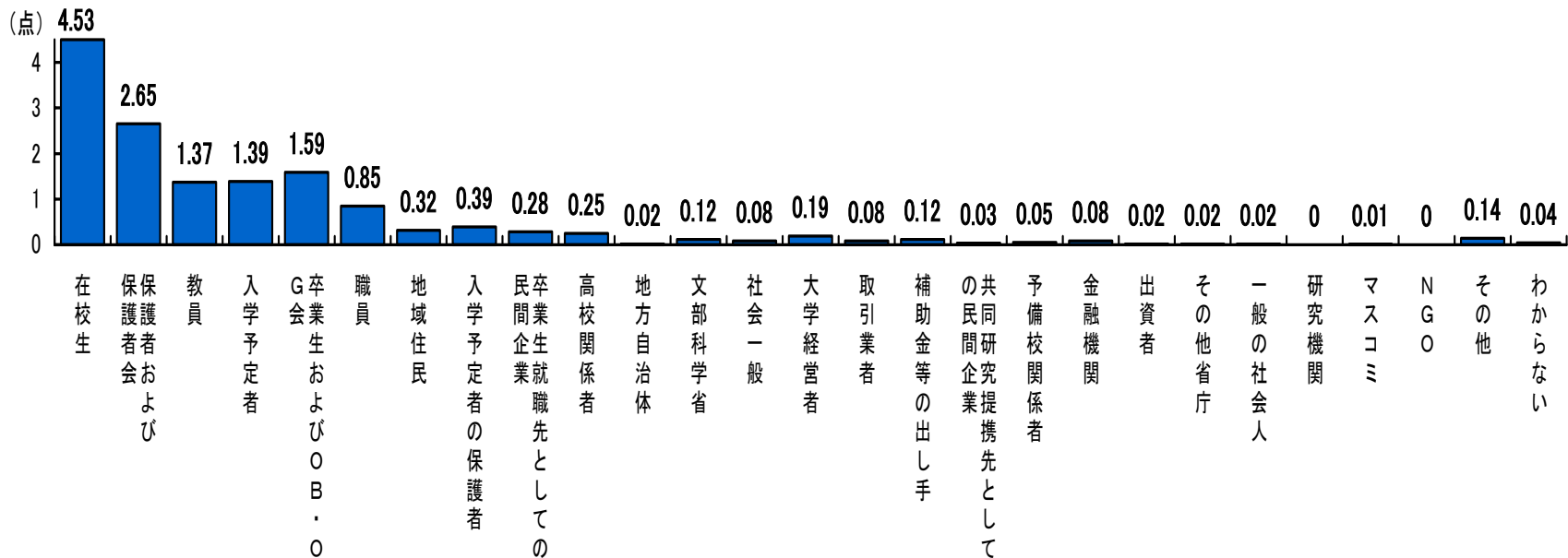
Q2SQ1. 上記Q2で選んだうち、重要と考える「ステークホルダー(利害関係者)」を最大5つまで選び、重要な順にその番号を記入してください。

<1～5番目合計 平均化>

**国公立 (n=71)**



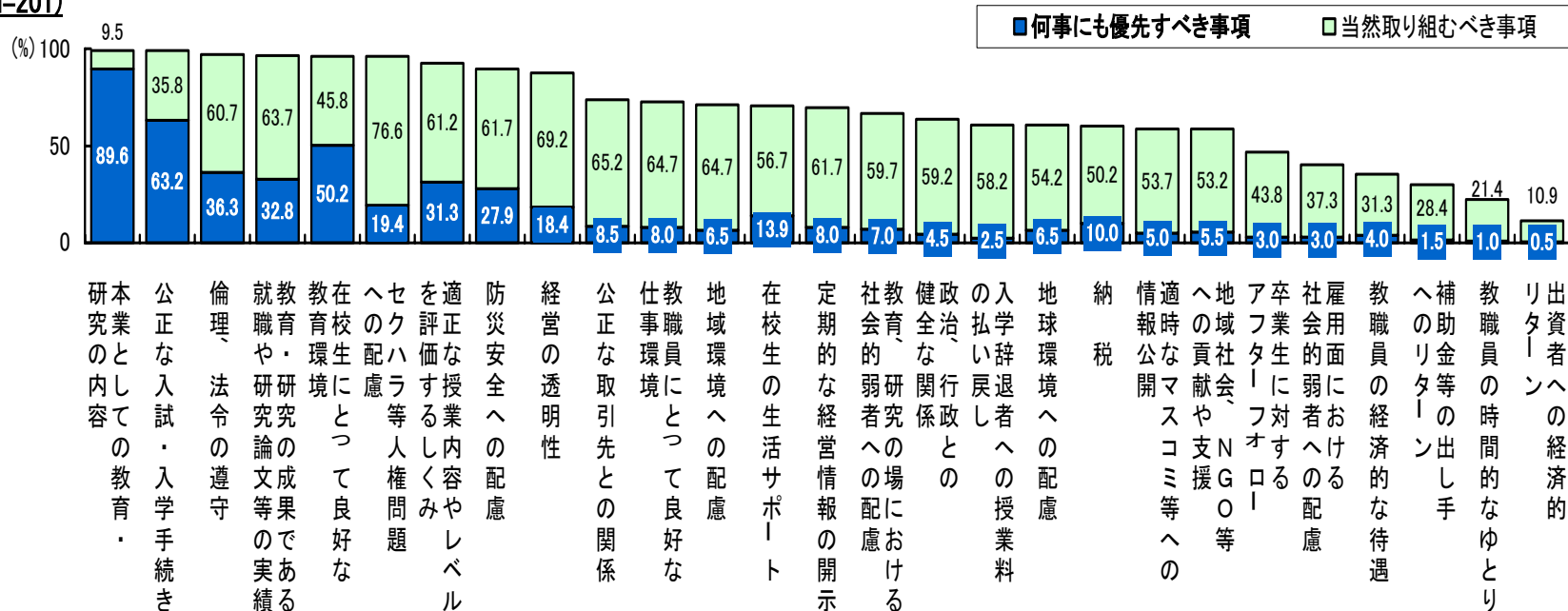
**私立 (n=130)**



# 5. USRとしての取り組みの重要度 (1)

Q3. 貴大学では、大学の社会的責任(USR)として、以下のうちどれを重要と考えていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

全体 (N=201)

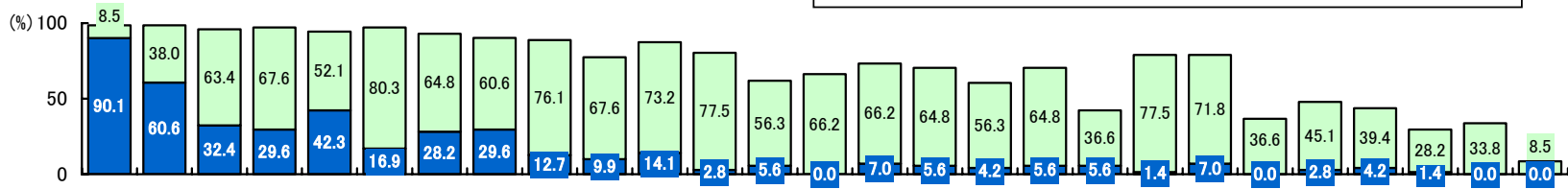


# 5. USRとしての取り組みの重要度 (2)

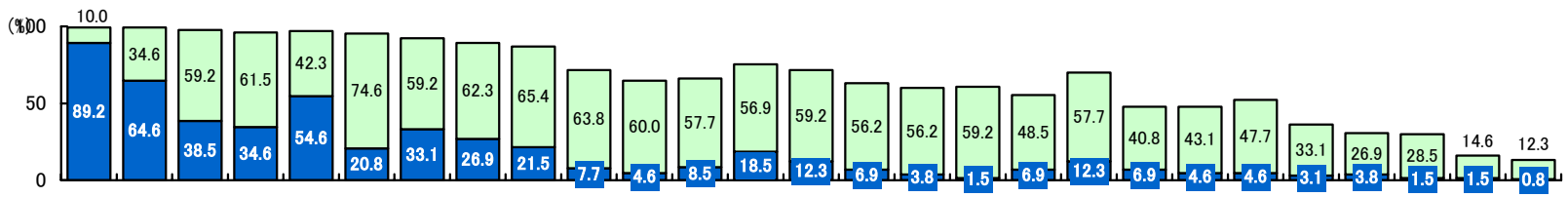
Q3. 貴大学では、大学の社会的責任(USR)として、以下のうちどれを重要と考えていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

国公立 (n=71)

■ 何事にも優先すべき事項    □ 当然取り組むべき事項



私立 (n=130)

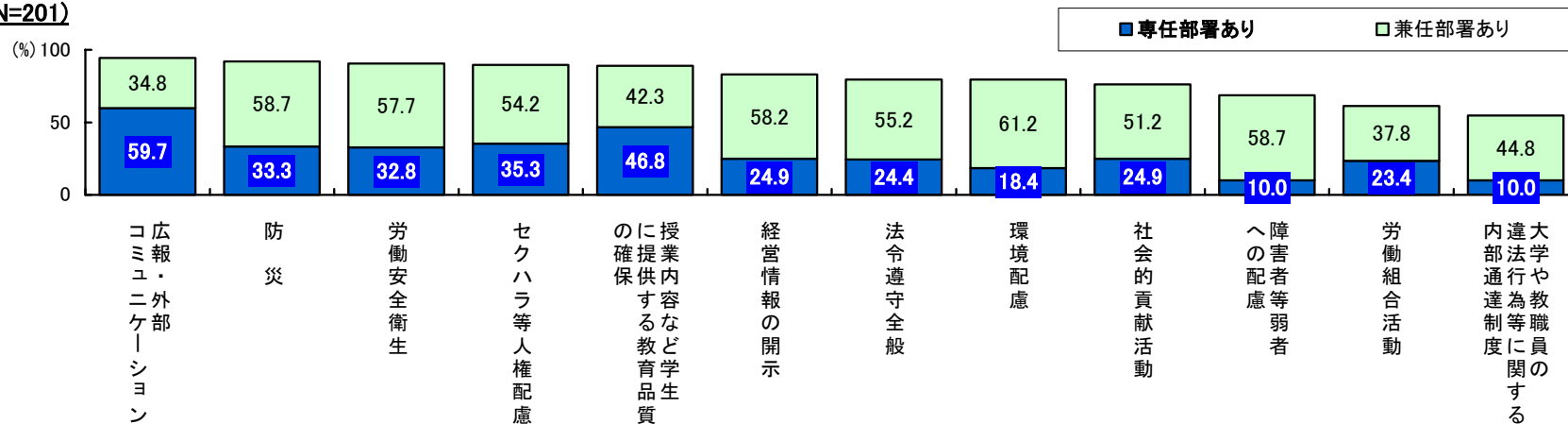


- 1 本業としての教育・研究の内容
- 2 公正な入試・入学手続き
- 3 倫理、法令の遵守
- 4 就職や研究論文等の実績
- 5 教育環境
- 6 在校生にとって良好なセクハラ等人権問題への配慮
- 7 適正な授業内容やレベルを評価するしくみ
- 8 防災安全への配慮
- 9 経営の透明性
- 10 公正な取引先との関係
- 11 仕事環境
- 12 教職員にとって良好な地域環境への配慮
- 13 在校生の生活サポート
- 14 定期的な経営情報の開示
- 15 社会的弱者への配慮
- 16 教育、研究の場における健全な関係
- 17 政治、行政との払い戻し
- 18 入学辞退者への授業料の払い戻し
- 19 地球環境への配慮
- 20 納税
- 21 適時なマスコミ等への情報公開
- 22 地域社会、NGO等への貢献や支援
- 23 アフターフォロー
- 24 卒業生に対する社会的弱者への配慮
- 25 雇用面における社会的弱者への配慮
- 26 教職員の経済的な待遇
- 27 補助金等の出し手へのリターン
- 28 教職員の時間的なゆとり
- 29 リターンへの経済的

## 6. 担当部署・担当者の設置状況 ①担当部署 (1)

Q4. 現在、組織の社会的責任として一般に認識されている以下の主要な事項1)～12)について、貴大学ではA)担当部署を設置していますか。(それぞれ1つずつ〇印)

全体 (N=201)

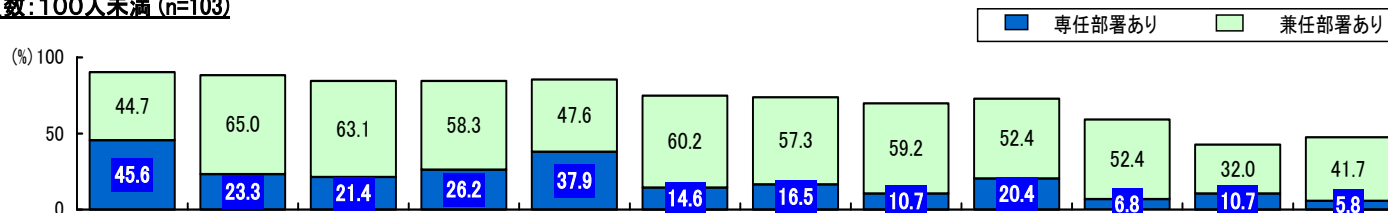




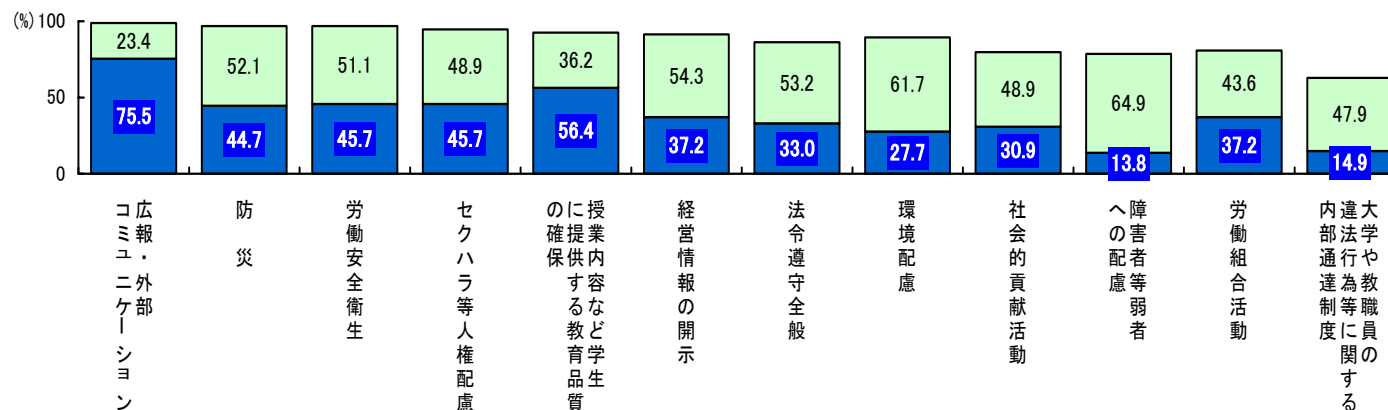
## 6. 担当部署・担当者の設置状況 ①担当部署 (2)

Q4. 現在、組織の社会的責任として一般に認識されている以下の主要な事項1)～12)について、貴大学ではA)担当部署を設置していますか。(それぞれ1つずつ〇印)

**正職員数:100人未満 (n=103)**



**正職員数:100人以上 (n=94)**

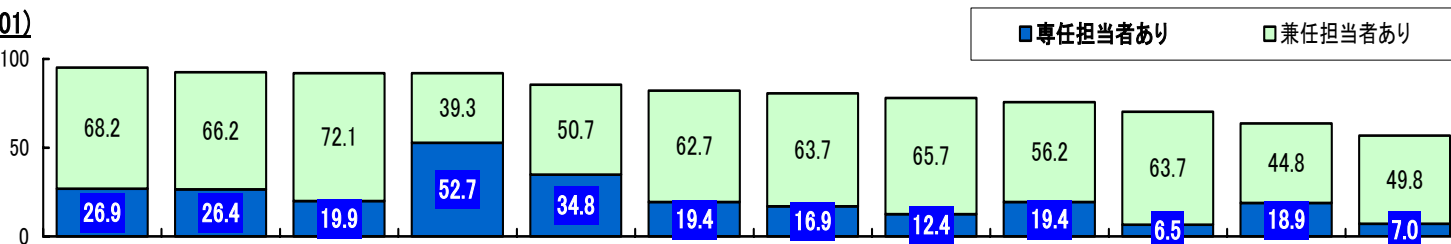


# 6. 担当部署・担当者の設置状況 ②担当者 (1)

Q4. 現在、組織の社会的責任として一般に認識されている以下の主要な事項1)～12)について、貴大学ではB)担当者を設置していますか。(それぞれ1つずつ〇印)

全体 (N=201)

(%) 100



防 災

労働安全衛生

セクハラ等  
人権配慮

広報・外部  
コミュニケーション

授業内容など  
学生に提供する  
教育品質の  
確保

法令遵守全般

経営情報の開示

環境配慮

社会的貢献活動

障害者等  
弱者への  
配慮

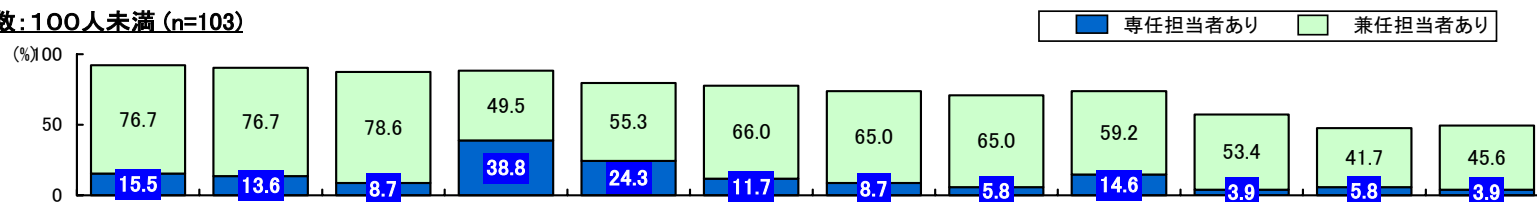
労働組合活動

大学や教職員  
の関する  
内部通報制度  
の整備

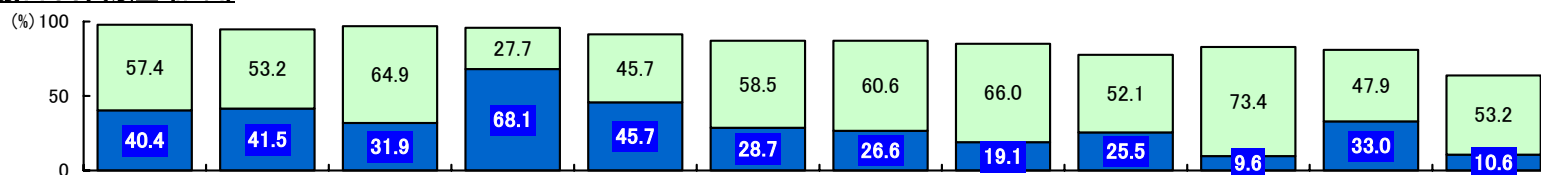
# 6. 担当部署・担当者の設置状況 ②担当者 (2)

Q4. 現在、組織の社会的責任として一般に認識されている以下の主要な事項1)～12)について、貴大学ではB)担当者を設置していますか。(それぞれ1つずつ〇印)

正職員数:100人未満 (n=103)



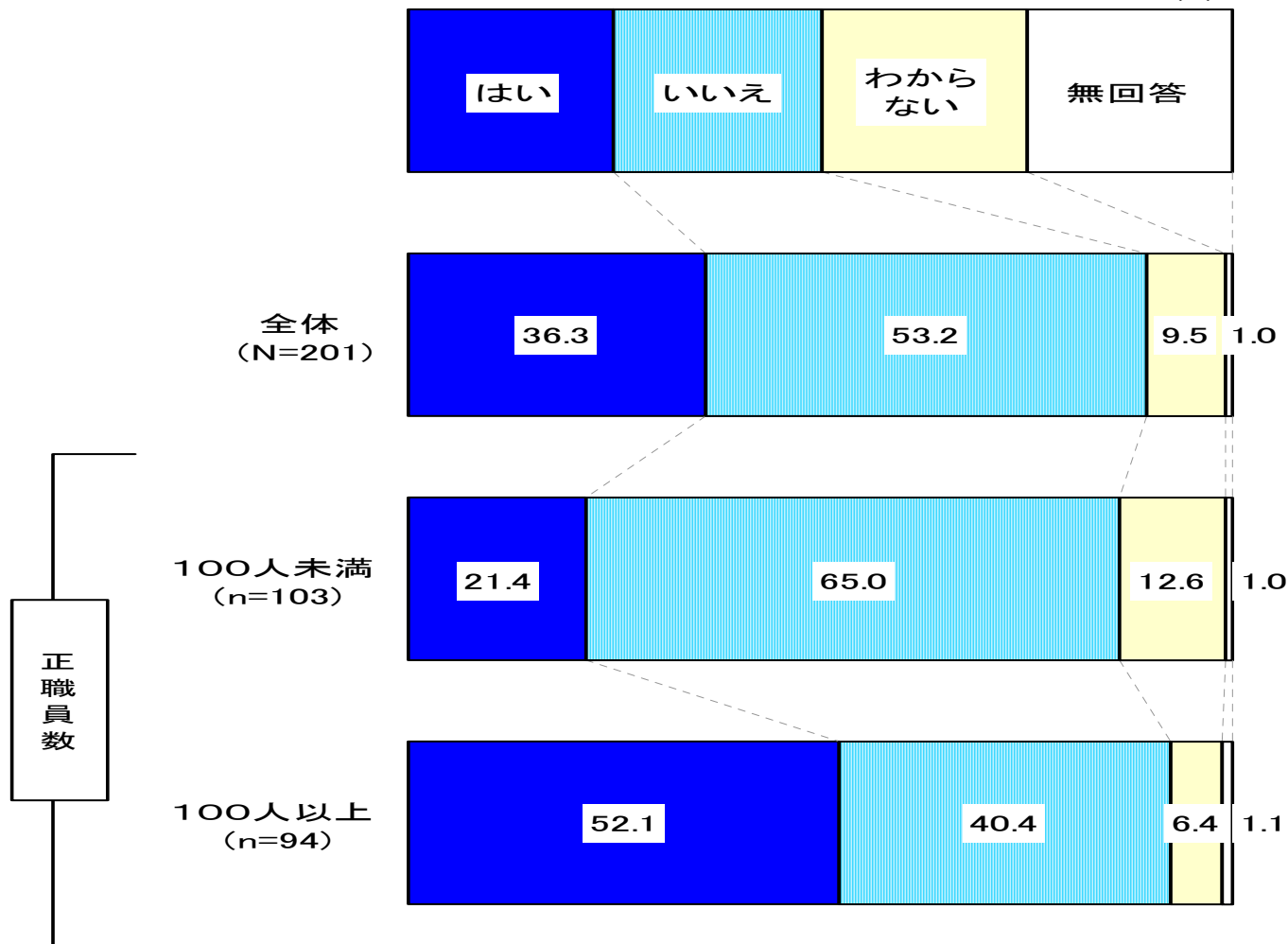
正職員数:100人以上 (n=94)



1) 防災  
2) 労働安全衛生  
3) セクハラ等  
人権配慮  
4) 広報・外部  
コミュニケーション  
5) 授業内容など  
学生の教育品質  
の確保  
6) 法令遵守全般  
7) 経営情報の開示  
8) 環境配慮  
9) 社会的貢献活動  
10) 障害者等弱者  
への配慮  
11) 労働組合活動  
12) 大学や教職員の  
違法行為等に関する  
内部通報制度

# 7. 組織的・体系的なリスクマネジメントの実施 (1)

Q5. 組織の社会的責任は、組織のリスクマネジメントと深い関係があります。  
貴大学では、大学のあらゆる活動側面に関する組織的で体系的な  
リスクマネジメントを実施していますか。(1つだけ〇印) (%)



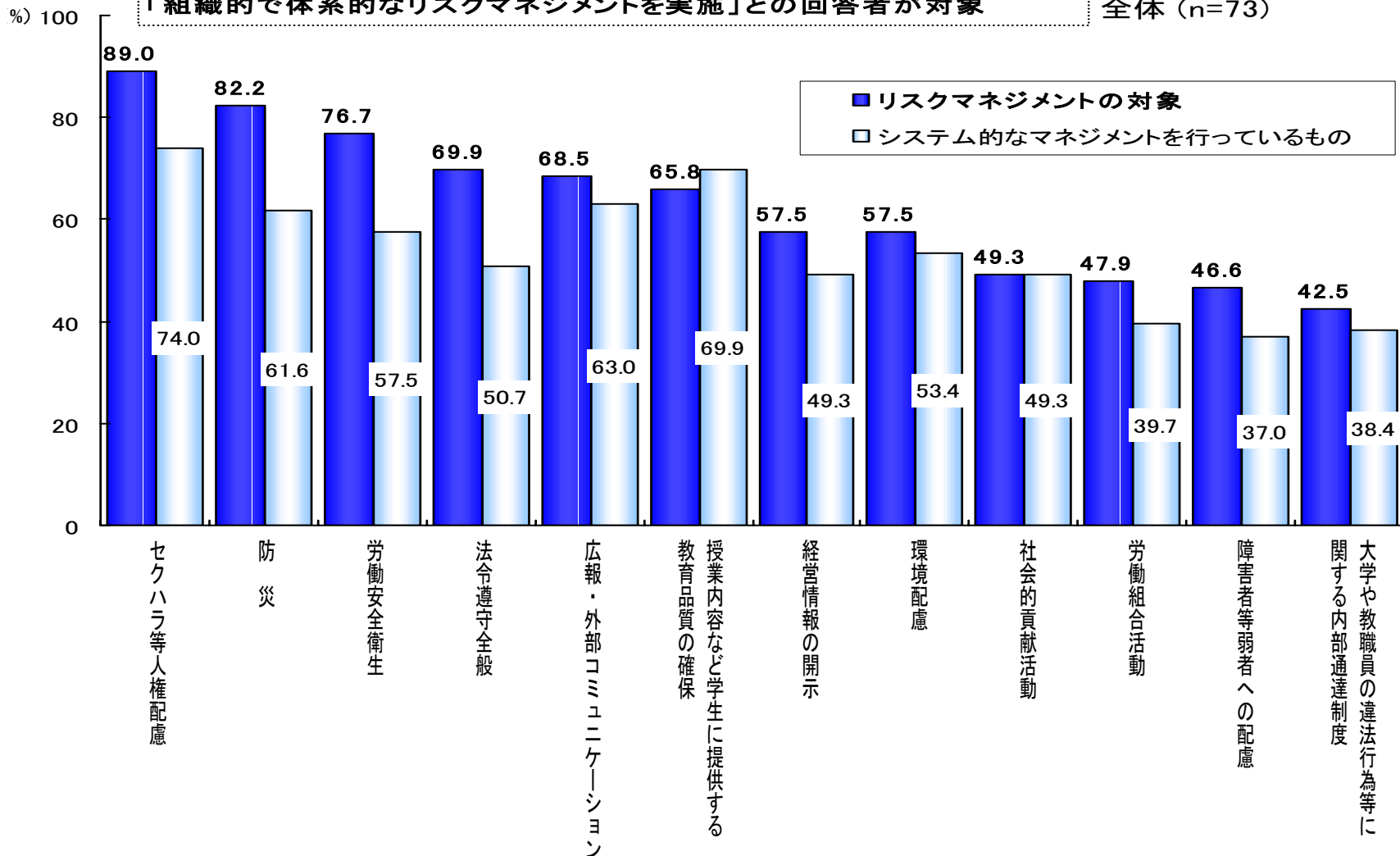
# 7. 組織的・体系的なリスクマネジメントの実施 (2)

Q5SQ1. (Q5で1と回答の方)以下の事項のうち、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。

(それぞれいくつでも○印)

「組織的で体系的なリスクマネジメントを実施」との回答者が対象

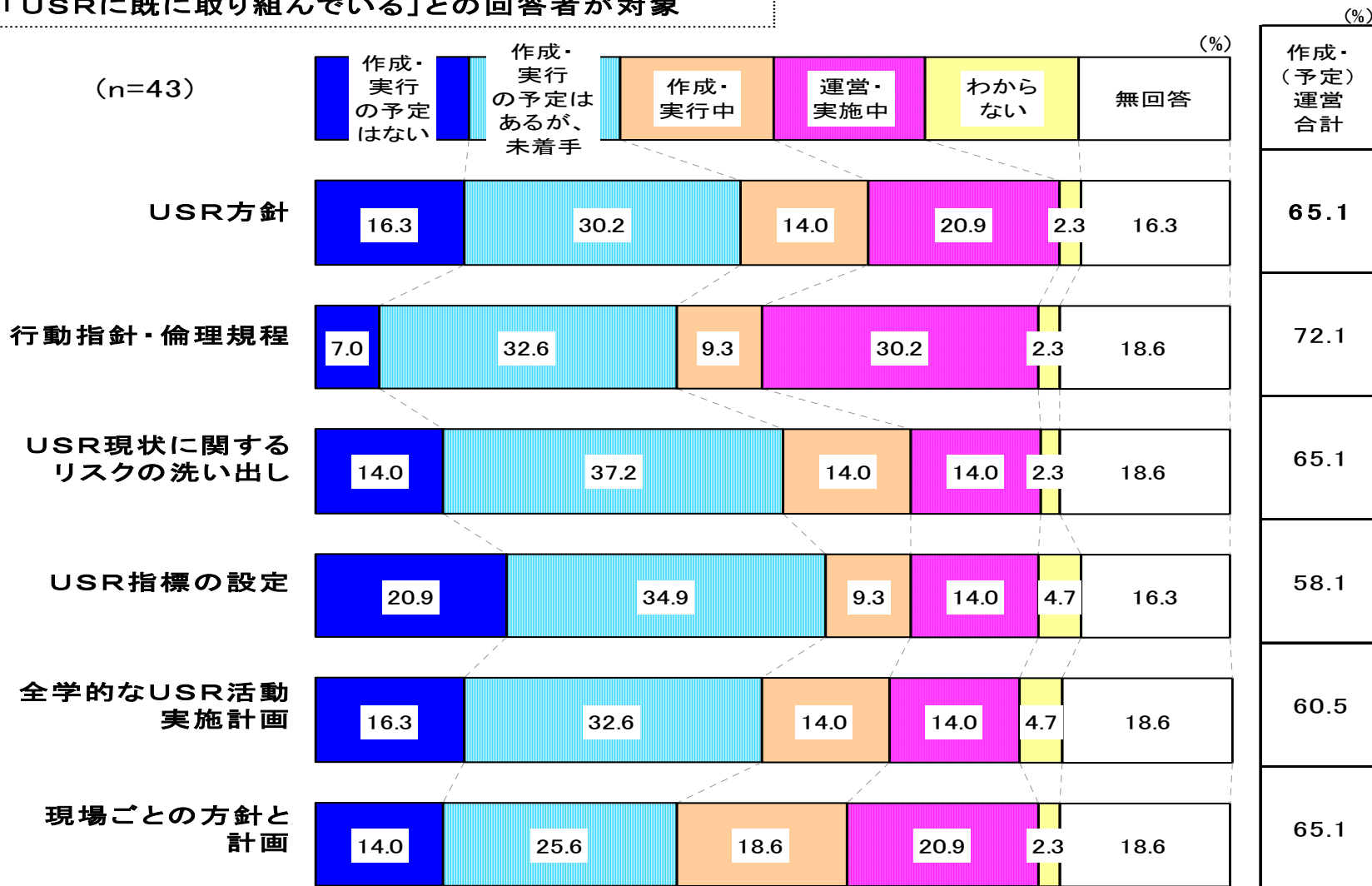
全体 (n=73)



# 8. USR方針と計画 (1)

Q6. 貴大学におけるUSR方針と計画について、取り組み状況(または取り組み予定)はどのようになっていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

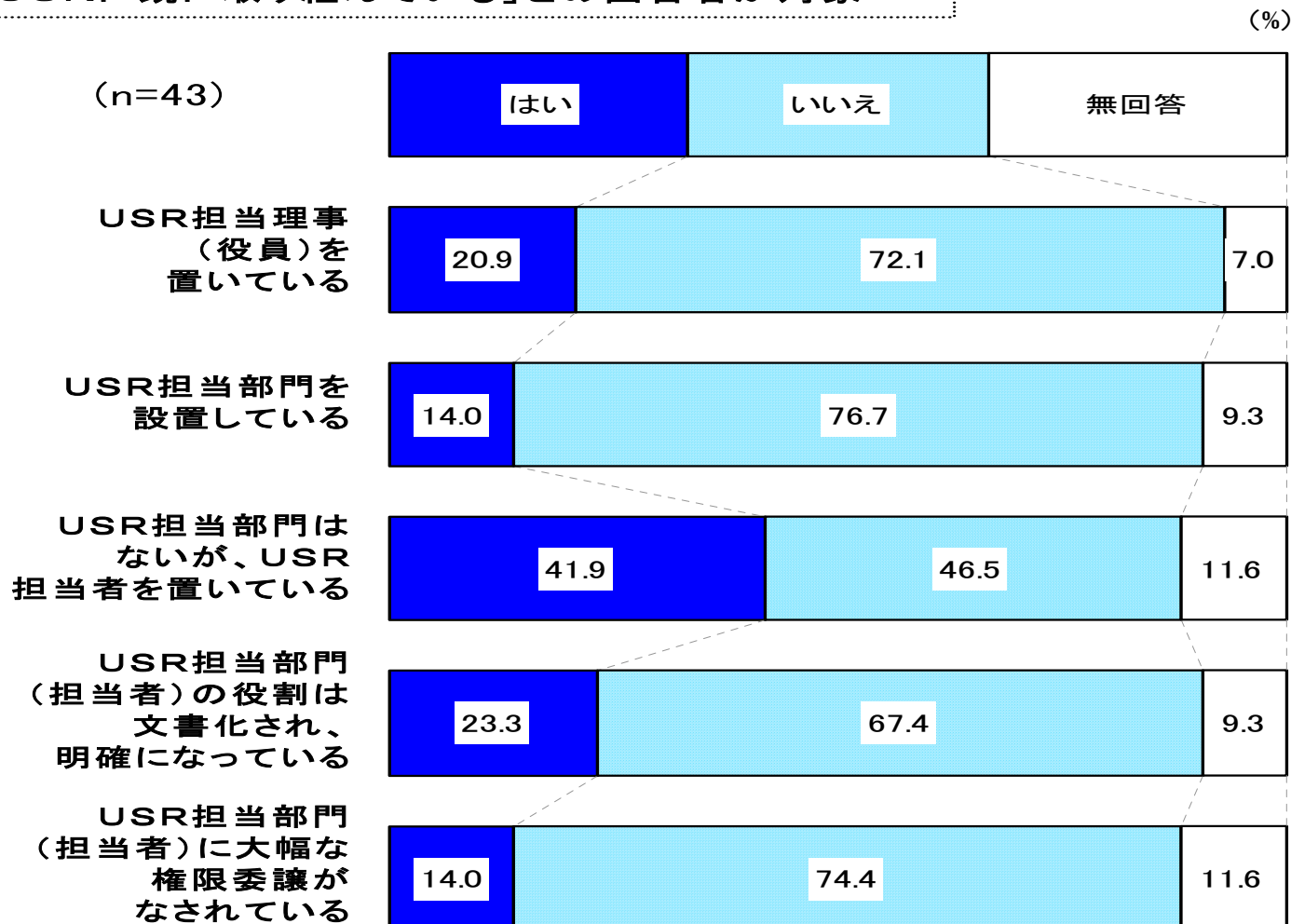
「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象



## 8. USR方針と計画 (2)

Q7. 組織に関する以下の事項について、貴大学では現在、取り組み状況はどのようになっていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

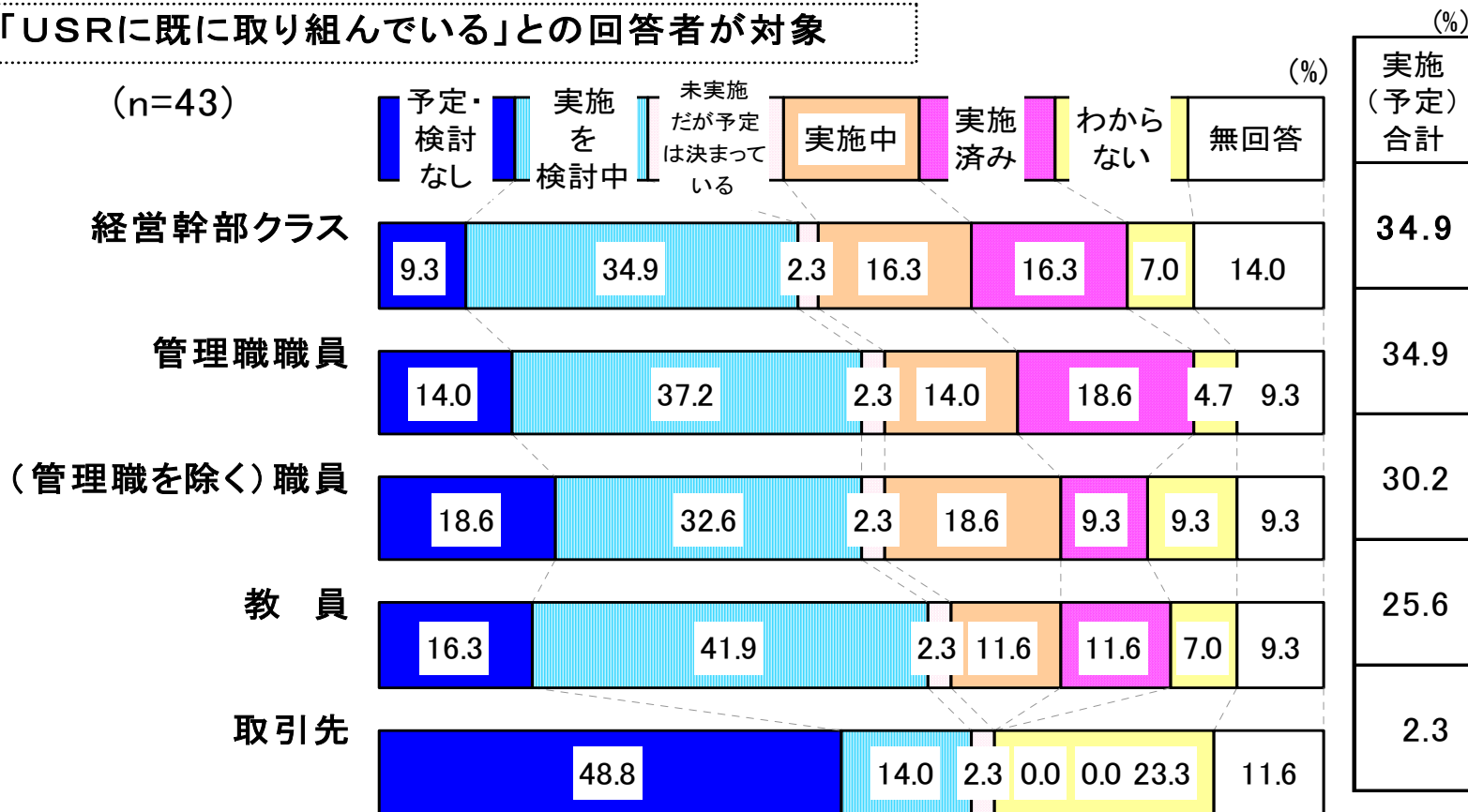
「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象



# 9. USRに関する教育／啓蒙（1）

Q8. USRに関する教育／啓蒙に関して、A)対象者について、  
それぞれ現在の取り組み状況についてどうなっていますか。（それぞれ1つずつ○印）

「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象

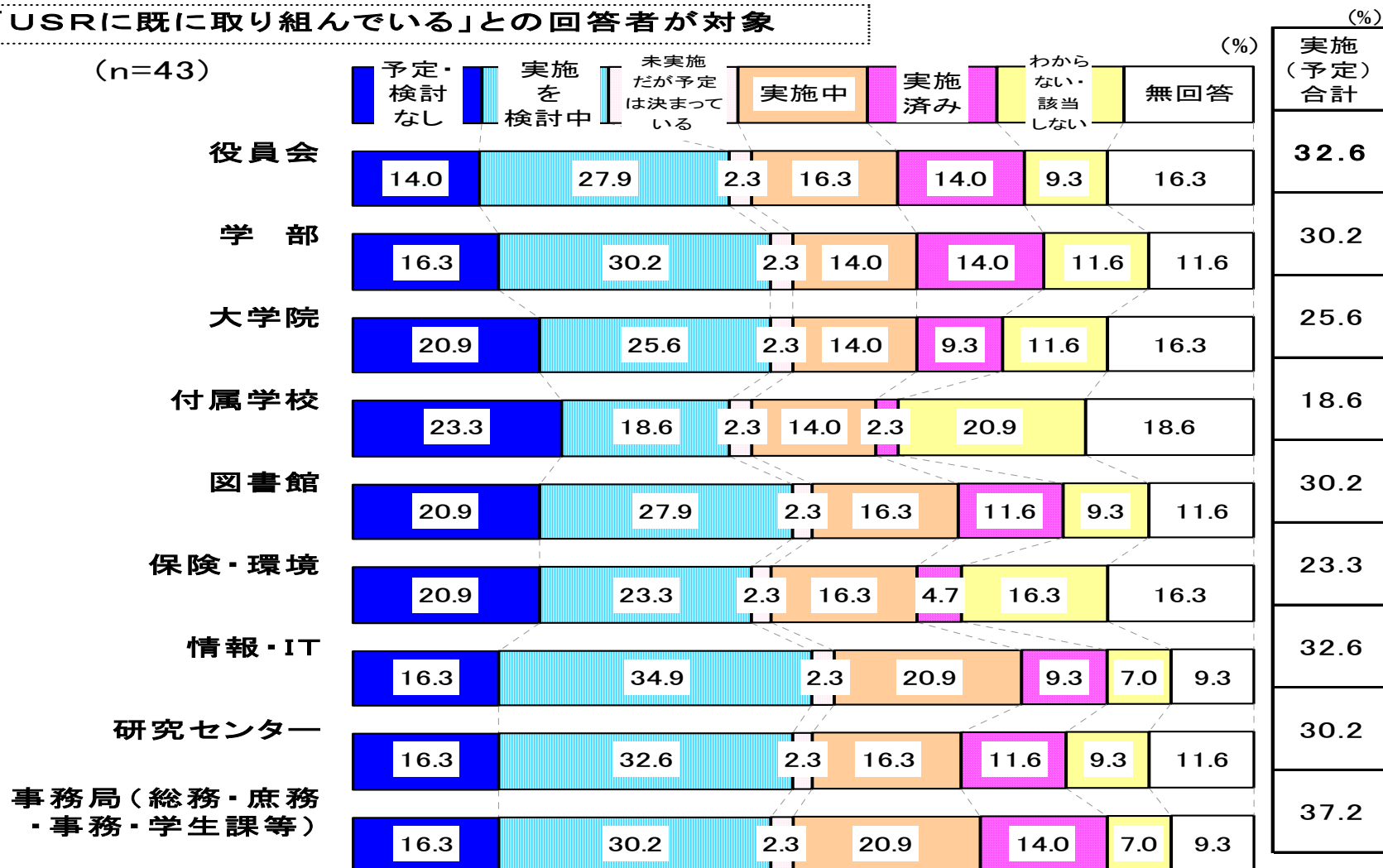




# 9. USRに関する教育／啓蒙 (2)

Q8. USRに関する教育／啓蒙に関して、B)現場ごとの組織について、それぞれ現在の取り組み状況についてどうなっていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象



# 10. モニタリングとコミュニケーション手段 (1)

Q9. USRに関するモニタリングについて、取り組み状況(または取り組み予定)はどのようになっていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

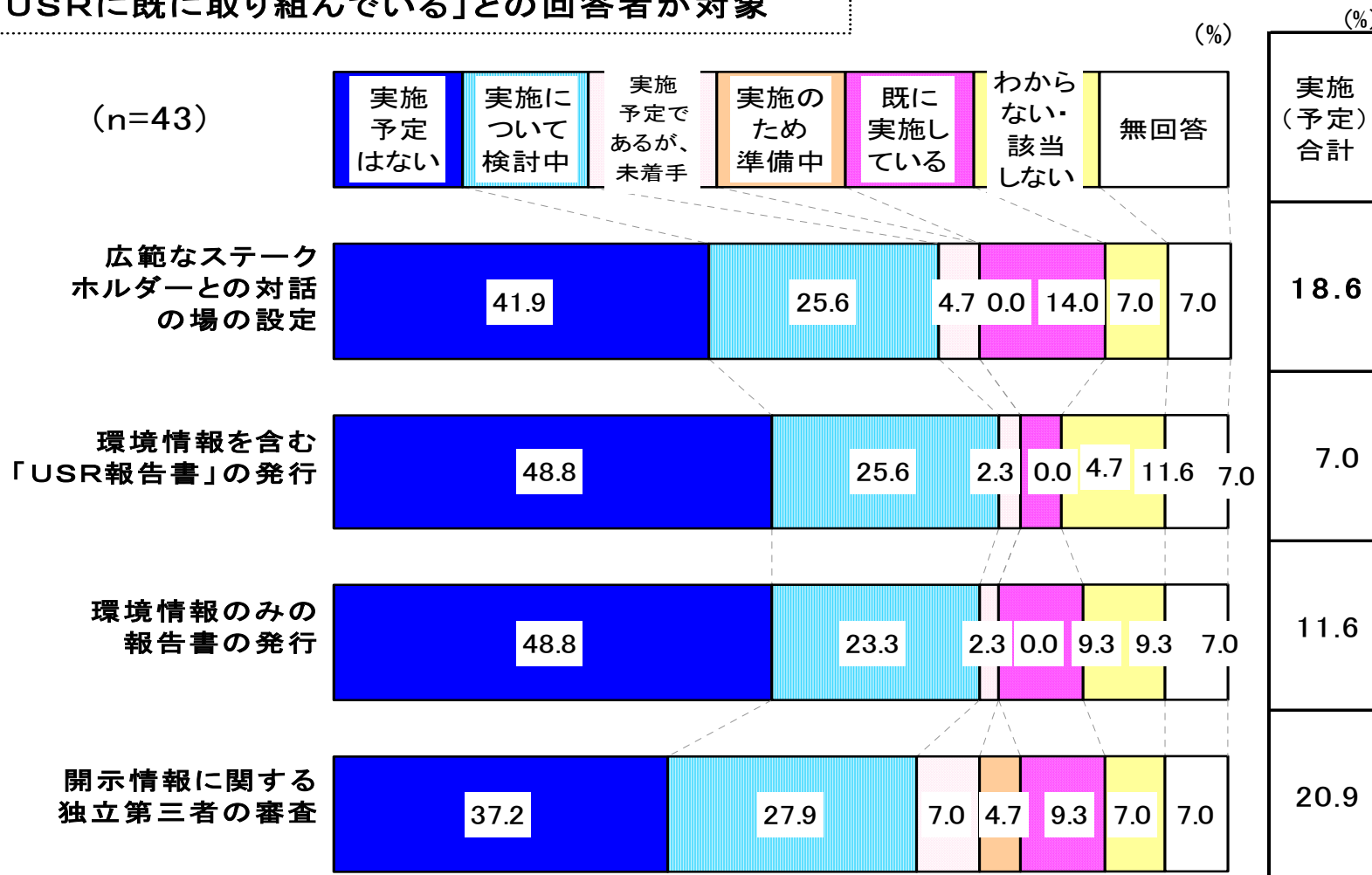
「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象



# 10. モニタリングとコミュニケーション手段 (2)

Q10. USRのコミュニケーション手段について、取り組み状況(または取り組み予定)はどのようになっていますか。(それぞれ1つずつ〇印)

「USRに既に取り組んでいる」との回答者が対象



# 11. USRの導入・推進にあたっての課題(自由回答から)

## 1. 人的確保が困難(余裕がない)

- 小さな学校法人において、専任の組織や専任職員の配置は困難。
- 人的(スタッフ)余裕。
- 国立大学では、これに関して専任担当部署や担当者を決める人的余裕はない。したがって、全体的な教学、経営方針の中で皆の注意を喚起しており、それ以外は各々の部所に対応している。例えば、附属病院ではリスクマネージメントの部署に専任担当者がおり、定期的に研修を行っているなどである。
- 小規模な学園であり、USR全般を統括的体系的に実施、啓蒙といった段階にはない。個別の部署、案件毎に役員会にて対応している状況にある。社会協力については事実上、規模の割に具体例は多いが、Proactiveな行動が社会的責任だがしかしリスクマネジメントは、又概念が異なる(共通部分もある)と考える。

## 2. 専門的人材の確保／育成

- 専門に研究し、実行する人材の確保(人件費と能力)。
- 専門知識を有する人材の確保。
- 専門的知識を持った者の確保。
- 専任部署による計画的な諸研修の実施とチェックシステムの構築。

## 3. 意識向上／改革

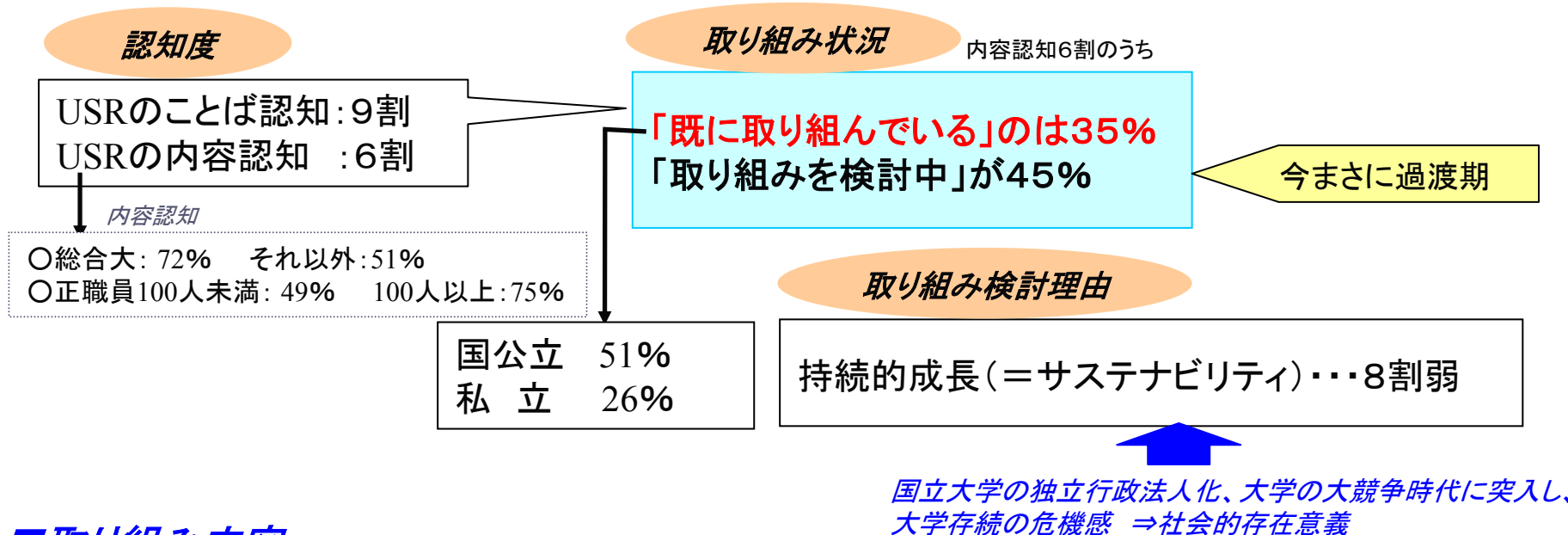
- まず始めに、教職員のUSRに関する認識を高める必要がある。導入の際には、一貫性のある確固としたUSRマネジメント方針を定めなければならない。
- 教員・職員、一人ひとりの意識改革が必要。
- 教職員の共通理解を深めること。

## 4. その他

- 企画を実施する予算の確保。
- 近々に学園課題として取り上げる必要は、全役員が認識しているが、現在は経営面の課題解決で手一杯の状況がある。
- 特に障害はありませんが、そこまで話が進んでない。
- 取り組みに必要な手法等に関する情報を十分に集めるところまで至っておりませんが、USR取り組みの必要性を感じております。
- USR活動項目の基準化が混乱しているので、勉強中。ISO14001取得等への動機づけから取り組む予定。
- 従来はUSRに関する組織的な理解が得られていない面もあったが今後は段階的に推進していきたい。
- USRという特別な活動概念があると考えのではなく、大学における教育・研究や社会貢献など全ての活動において社会的責任を意識しつつ推進することが必要と考えている。
- アンケートをすることによってかなり啓蒙されましたが、まだUSRなるものがどんなものなのかよくつかめません。その必要性は感じますが、具体的にどのように取り組んでいけばよいのかよくわかりませんので、良い取り組みのモデルを知りたいと思います。

# 12. 結果まとめ

## ■ 認知と取り組み状況



## ■ 取り組み内容

